

# がん性皮膚潰瘍のケア

## 乳がんの場合

監修 埼玉県立がんセンター看護部 乳がん看護認定看護師 横枕 令子



### がん性皮膚潰瘍とは

がんが皮膚に直接浸潤もしくは転移することで生じる潰瘍性の病変のことです。

#### がん性皮膚潰瘍の主な症状

- ① 滲出液 ② 出血 ③ 臭気 ④ 痛み

これらの症状がある場合は、以下の手順に従ってケアを行ってください。

### 毎日のケアの手順

#### 1. 皮膚潰瘍部の洗浄

**A**

シャワーあるいは洗浄容器などを用いて、ぬるま湯をガーゼにかけ、ガーゼ全体をしっかりと濡らします。

**B**

ガーゼをはがす時は、ガーゼを十分にぬるま湯で濡らし、出血に注意しながら、ゆっくりと丁寧にはがします。

**C**

泡立てた弱酸性の石鹸で、皮膚潰瘍部とその周囲を優しく洗い、ぬるま湯で石鹸を洗い流します。

**D**

洗浄後は皮膚潰瘍部とその周囲をタオルなどで軽く押さえ、水分をふき取ります。

\*出血時はしばらく圧迫止血します

- ガーゼ交換時に痛みがある場合は、ケア前にあらかじめ鎮痛剤を服用しておくとういでしょう。
- 洗浄時に痛みが生じる時は、洗浄に用いるぬるま湯を水道水ではなく、生理食塩水(0.9%食塩水:水1リットルに食塩9g)にすることで痛みが緩和する場合があります。
- 皮膚潰瘍部に出血がある場合は、入浴の最後に洗うことをお勧めします。洗浄後すぐに**圧迫止血(5分程度乾いたガーゼタオルで抑える\*)**ができるよう清潔な乾いたタオルを準備しておくとういでしょう。また、シャワーの圧で出血を助長することがありますので、水圧を弱くする、肩のほうから洗い流すなど工夫をしましょう。

#### 2. お薬\*\*を塗ったガーゼを皮膚潰瘍部に貼る

\*\*皮膚潰瘍部の臭いを軽減させます。

**a**

処置前に、手を洗います。症状や皮膚潰瘍の大きさに応じて指示された量のお薬を、**ガーゼ**などにのばして塗ります。

**b**

皮膚潰瘍部に優しく貼ります。

**c**

ガーゼをテープで固定します。

**d** 滲出液が多い場合

下着固定  
胸帯固定

漏れを防ぐため、ガーゼの上から吸収性の高いパッドなどを重ねて使用するとよいでしょう。しっかり固定するために、テープ固定をしてから、下着固定や胸帯固定をお勧めします。

### ケアのポイント

- 入浴前にあらかじめお薬を塗ったガーゼを準備しておきましょう。
- 臭いを軽減し、出血のリスクを低下させるため、お薬は少し厚みを持たせるように塗ります。この時、お薬はガーゼの端まで塗らないようにしてください。
- 使用するガーゼは、皮膚潰瘍部にくっつきにくく、吸収性のあるガーゼ**(非固着性ガーゼ)**がお勧めです。
- ガーゼは十分なサイズのものを用い、皮膚潰瘍部に密着させることで漏れを防ぎます。しっかり固定しましょう。
- テープ固定の場合、皮膚のかぶれを防ぐために、テープを貼る位置は毎回少しずつずらすとよいでしょう。テープのはくり刺激から皮膚を保護する製品もありますので、必要時にご相談ください。
- テープかぶれが生じた場合には、肌に優しいテープに変える、下着固定や胸帯固定などへの変更をお勧めします。方法についてはご相談ください。
- お薬を塗ったガーゼは1日1~2回交換します。滲出液が多くガーゼの上に吸収パッドも重ねて使用している場合は、吸水パッドだけをこまめに交換してください(「**d** 滲出液が多い場合」参照)。

### 参考 吸収性の高いパッド

滲出液を吸収したり、臭いを抑えるために用いる専用パッドも市販されています。代用品として、生理用ナプキン、尿とりパッドや紙おむつ、母乳パッドなどを使用することもできます。



- からだに異常を感じるなど気になる症状があれば、医師、看護師または薬剤師にご相談ください。
- 他にもわからないこと、気になることがありましたら、医師、看護師または薬剤師にご相談ください。